

令和3年度 大田区特別職報酬等審議会

会議記録

第1回

開会日時： 令和3年11月10日（水） 午後4時
場 所： 大田区役所 5階 会議室
出席委員： 10名 ※定足数6名 （敬称略 50音順）
北見 公秀 大田区商店街連合会 会長
齊藤 政二 （公益社団法人）大森法人会 会長
鈴木 英明 大田区自治会連合会 会長
利根川 文子 大田区婦人団体連合会 会長
中井 恭子 日本公認会計士協会東京会大田会 会長
中島 寿美 社会福祉法人 大田区社会福祉協議会 会長
深尾 定男 東京商工会議所大田支部 会長
舟久保 利明 （一般社団法人）大田工業連合会 会長
森谷 憲光 連合大田地区協議会 議長
吉田 久司 大田区民生委員児童委員協議会 会長

議事進行：

1 会長選出

委員の互選により、鈴木委員を会長として選出した。

2 諮問

区長より会長へ諮問書を手交した。

（区長は諮問のため入室し、諮問後退室）

3 審議

審議にあたり事務局から、令和3年特別区人事委員会勧告の概要（月例給は改定なし、特別給は0.15月引き下げ）、これまでの経過、他自治体との比較情報について説明があった。

特別区人事委員会勧告の一般職の改定に準じた改定案（給料・報酬月額は改定なし。期末手当については、区長、副区長及び教育長は0.12月の引き下げ、議員は0.13月の引き下げ）について、質疑と意見交換を行った。

<主な意見>

- 区長・副区長の給料は安い。（23区中の規模から、その職責を考慮すると）本来ならば23区内で1・2位でなければならないと思う。地域の行事のたびに必ずおいでになる。時給計算すると非常に安いのではないか。コロナ対策でもがんばって

ただいているところで、この金額ははなはだ申し訳ない。議長・副議長以下議員の皆さんも働いていらっしゃるでしょうが、それを考慮すると、区長・副区長・教育長をもう少し手厚くしてはどうか。

- 毎回本審議会において、区長・副区長・教育長に対する委員の皆さんの熱い気持ちは共通している。
- 議員と地域の関わり方が10年前とは変わってきている。区民の代表を議会に送って議会から区政へ反映させて、それが地域に戻ってくるというあり方、地域と密着したものが昔ほどない。区民の代表が代表でなくなってきている。議員の期末手当の支給月数が区長・副区長・教育長より多いことについては、もう少し活動の分野を広げて、本来の、いわゆる区民の代表としての職務を果たしていただくということなら構わない。
- 報酬等の額について絶対額が高いとか低いとかの評価は難しい。民間の感覚でいうと、予算全体や税収総額の中で役員報酬が何%出すという目標値があってもいいのかなど。予算総額を抑えたときに、比率に応じてこの金額でやらなきゃいけないという、一つの大枠があってもいいのかなという気がする。
- 今のコロナ禍の情勢から言えば、下げていく方向性は当然だと思うので、勧告に準じた程度の引き下げは仕方がないという印象である。
- コロナの影響で区民生活が苦しい状況の中では、自治体を束ねる首長については、区民と同じ感覚が報酬というひとつの形に現れた方がいいのかなという気持ちがある。区民が苦しい状況はすごく感じるので、そういう状況を反映することでは、（勧告に準じた程度の）引き下げはよいのかなと思う。
- 区長が地域に出ていただく回数が並みでない。給料、期末手当を下げるのはどうかという気がする。それに対して議員については、何をしているのかわからなくて、選挙でただ「お願いします」だけでは、いかがかなものか。そこがちょっと引っかかっている。

事務局：総務部長、総務課長、総務課職員